ヘーゲルが提唱した弁証法とは？世界がどのように出来ているのかを知る方法：序章

弁証法とは、世界がどのように出来ていて、世界はどうやって変化するのか？と言う事を理解するためにドイツの哲学者であったヘーゲルが発案した考え方です。

さて、どうして、弁証法を学ぶべきなのでしょうか？

世界の摂理と変化がどのように起きるか？と言う事を理解すれば、あなたと言う一人の人間が何を変える事が出来て、何を変える事が出来ないのか？と言う事は分かるようになります。

そして、あなた自身が変える事が出来る事だけに、人生の時間を注げば、あなたが憧れ思い描く夢や目標を叶える確率を上げる事が出来るわけです。

弁証法は３つの考え方で出来ております：

１．万物（ありとあらゆる物）は対立する何かがあってこそ存在する

２．ゆるやかな変化によって分岐点（転機、変わり目）が訪れ、対立する何かに打ち勝つ

３．変化は螺旋状に起こる

弁証法の考え方の動画は３つの動画に分けて（この動画は含まない）お届けしたいと思います。

最後に、ニーバーの祈りと題された格言をご紹介させて頂きます。

Grant me the serenity to accept the things I cannot change, the courage to change the things I can, and the wisdom to know the difference.

変える事の出来ない物事を受け入れる心と、変える事が出来る物事を変えようとする勇気、そしてその二つの違いを理解する知恵を下さい…

あなたの祈りに答えて見せましょう。